

算数オンライン塾 5 月 16 日の問題解説

(1)

2 の倍数は $100 \div 2 = 50$ 個、7 の倍数は $100 \div 7 = 14 \cdots 2$ で 14 個、

14 の倍数は $100 \div 14 = 7 \cdots 2$ で $50 + 14 - 7 = 57$ 個

8 の倍数は $100 \div 8 = 12 \cdots 4$ ですから $57 - 12 = 45$ 個

(答え) 45 個

(2) A の倍数でないものは 56 個なので、A の倍数は 1 個です。

51 以上であれば 1 から 100 の間に 1 個しかないので、まず 2 の倍数で 51 以上は

100、98、96、94、 $\cdots$ 52 までの $(100 - 52) \div 2 + 1 = 25$ 個

7 の倍数で、2 の倍数でないものは、7、21、35、49、63、77、91

でこのうち、50 以上は 63、77、91 の 3 個。

合計 $25 + 3 = 28$ 個

(答え) 28 個